

研究・調査報告書

報告書番号	担当
3 3 9	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳) Smoking, alcohol, and dietary choices: evidence from the Portuguese National Health Survey. 喫煙、飲酒と食品選択 the Portuguese National Health Survey	
執筆者 Padrão P, Lunet N, Santos AC, Barros H.	
掲載誌 (番号又は発行年月日) BMC Public Health. 2007 Jul 3;7:138.	
キーワード 喫煙、飲酒、食品摂取	
要 旨 目的： 不健康な生活習慣の選択は集積する傾向にある。しかし、その一方で喫煙と食習慣の関連に関しては未だ検討する余地がある。本研究ではポルトガル住民において喫煙状況別にみた食習慣と飲酒の関連を比較検討する。	
方法： 本研究では 19 歳以上の第三次 the Portuguese National Health Survey 全参加者（女性 20302 人、男性 17923 人）を対象とする。参加者は NUTS II 分類によるポルトガルの 5 地域の居住者から multi-stage random probability design により無作為抽出された。熟練した面接者が住民と対面面接を行い、社会および人口統計学的特性、生活様式、健康状態、喫煙、特定の食品および飲料の摂取状況に関する情報を聴取した。男女別に、年齢、教育を調整した二項および多項ロジスティック回帰モデルにより喫煙と様々な食品と飲料の摂取状況の関連を検討した。	
結果： 多量喫煙者は非喫煙者と比較するとスープを摂取するオッズ比(OR)は男性 0.60(95%信頼区間(95%CI):0.54 - 0.68)、女性 0.46(95%信頼区間(95%CI):0.33 - 0.65)であった。同様に、野菜を摂取する OR は男性 0.56(95%CI:0.49 - 0.64)、女性 0.47(95%CI:0.32 - 0.69)、果物を摂取する OR は男性 0.36(95%CI:0.31 - 0.41)、女性 0.29(95%CI:0.19 - 0.44)、であった。結果、喫煙量が増加するとこれらの食品摂取量は低下した。男性の多量喫煙者は非喫煙者と比較すると牛乳摂取の OR は低く、男性 0.89(95%CI:0.67- 0.89)であった。多量喫煙者は非喫煙者と比較すると多量飲酒者ではワイン摂取の OR は男性 1.47 (95%CI:1.27 - 1.70)、女性 3.97(95%CI:2.07 - 7.61)、であった。同様にビール摂取の OR は男性 3.30 (95%CI:2.87 - 3.78)、女性 23.1(95%CI:12.2 - 43.6)、ポートワイン摂取の OR は男性 2.21(95%CI:1.65 - 2.98)、女性 2.85(95%CI:0.68 - 12.1)、ブランデー摂取の OR は男性 3.67 (95%CI:2.98 - 4.52)、女性 13.2(95%CI:3.72 - 46.6)、ウイスキー摂取の OR は男性 3.31 (95%CI:2.71 - 4.03)、女性 41.4(95%CI:18.5 - 92.5)であった。	
結論： 今回の研究結果から、喫煙者は飲酒量が多く、繊維や抗酸化物質、植物性化学物質を多く含む食品、すなわち多くの慢性疾患の予防に有用であると考えられる食品の摂取が少ないことが明らかとなった。	